

(議事の要旨)

開始 1 4 時 0 2 分

[西田委員長]

ただいまから、平成 2 7 年度第 7 回教育委員会定例会を開会いたします。

議事に入ります前に、本日は傍聴希望者がいらっしゃいますので、傍聴を許可したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認め、傍聴を許可します。

(傍聴者入室)

[西田委員長]

本日の会議録署名は、岡本委員にお願いいたします。

本日の案件は、追加案件も含めまして、議案 1 件、報告事項 5 件です。

[西田委員長]

それでは、議事に入ります。

議案第 2 7 号・日野市立学校設置条例の一部を改正する条例の施行に伴う日野市立幼稚園に関する規則第 3 条第 1 項に規定する幼稚園の定員の特例を定める規則の制定について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第 2 7 号 日野市立学校設置条例の一部を改正する条例の施行に伴う日野市立幼稚園に関する規則第 3 条第 1 項に規定する幼稚園の定員の特例を定める規則の制定について

[鈴木学校課長]

議案第 2 7 号・日野市立学校設置条例の一部を改正する条例の施行に伴う日野市立幼稚園に関する規則第 3 条第 1 項に規定する幼稚園の定員の特例を定める規則の制定について、でございます。

提案理由でございます。平成 2 9 年 4 月 1 日に行う日野市立第三幼稚園と日野市立第四幼稚園の統合に関して、幼稚園の定員の特例を定め、統合の影響を受ける園児の受入に配慮することにより、円滑な統合を進めるため、規則を制定するものでございます。

次のページをお開きください。

第 1 条、目的でございます。この規則は、日野市立学校設置条例の一部を改正する条例の施行に伴って実施される日野市立第三幼稚園と日野市立第四幼稚園との統合に関し、日野市立幼稚園に関する規則第 3 条第 1 項に規定する幼稚園の定員について特例を定め、当該統合の影響を受ける園児の受入に配慮することにより、円滑な統合を進めることを目的とするものでございます。

基準日でございます。第 2 条、この規則において、「基準日」とは、教育委員会が別に定める日野市立幼稚園園児募集要項に規定する応募受付期間の最終日をいうものです。

第 3 条、幼稚園の定員の特例でございます。平成 2 8 年度募集要項（平成 2 7 年に募集

を行う、平成２８年度入園に関する募集要項をいう。以下同じ。)に基づき実施する日野市立第三幼稚園の２年保育（当該年度の４月１日において満４歳未満の者を対象とする保育をいう。以下同じ。）園児募集に対する応募者が、当該募集要項の基準日において１０人に満たない場合は、規則第３条第１項に定める日野市立第三幼稚園４歳児の定員にかかわらず、当該定員を平成２８年度に限り０人とする。

第２項、前項の場合において、日野市立第三幼稚園の２年保育園児募集への応募者であって第２希望が日野市立第四幼稚園であるものと、日野市立第四幼稚園２年保育園児募集に対する応募者との合計が、平成２８年度募集要項の基準日において３０人を超えるときは、規則第３条第１項に定める日野市立第四幼稚園４歳児の定員にかかわらず、当該定員を平成２８年度に限り６０人とする。ただし、平成２８年４月１日時点の日野市立第四幼稚園４歳児の在園児数が３０人以下の場合は、この限りでない。

第３項、前項の規定により平成２８年度における日野市立第四幼稚園の４歳児の定員が６０人となった場合において、平成２９年度募集要項（平成２８年に募集を行う、平成２９年度入園に関する募集要項をいう。以下同じ。）に基づき実施する日野市立第四幼稚園の１年保育（当該年度の４月１日において満５歳の者を対象とする保育をいう。以下同じ。）園児募集に対する応募者数と、日野市立第四幼稚園４歳児の在園児数との合計が、当該募集要項の基準日において３５人を超えるときは、規則第３条第１項に定める日野市立第四幼稚園５歳児の定員にかかわらず、当該定員を平成２９年度に限り７０人とする。ただし、平成２９年４月１日時点の日野市立第四幼稚園５歳児の在園児数が３５人以下の場合は、この限りでない。

第４項、平成２８年度募集要項に基づき実施する日野市立第三幼稚園の２年保育園児募集に対する応募者が１０人以上の場合において、次に掲げる者の合計が３５人を超えるときは、規則第３条第１項に定める日野市立第四幼稚園５歳児の定員にかかわらず、当該定員を平成２９年度に限り７０人とする。ただし、平成２９年４月１日時点の日野市立第四幼稚園５歳児の在園児数が３５人以下の場合は、この限りでない。

（１）平成２９年度募集要項に基づき実施する日野市立第四幼稚園の１年保育園児募集に対する当該募集要項の基準日における応募者。

（２）平成２９年度募集要項の基準日における日野市立第三幼稚園４歳児の在園児のうち平成２９年度に日野市立第四幼稚園へ転園するもの。

（３）平成２９年度募集要項の基準日における日野市立第四幼稚園４歳児の在園児。

付則でございます。この規則は、平成２７年１１月１日から施行するものでございます。よろしくご審議のほど、お願いいたします。

〔西田委員長 〕

事務局からの説明が終了いたしました。ご質問がございましたら、お願いします。岡本委員。

〔岡本委員 〕

この規則は、平成２７年１１月１日からの施行ということになっておりますけれども、事務局のご準備は大変だと思うのですが、今後の広報、いろいろなケースがあると思いますので、広報の手順といいますか、方法も含めて教えていただきたいと思います。

〔鈴木学校課長 〕

来年度の入園の広報ということでございます。まず、11月1日に日野市の広報において、募集要項の配付をするということのお知らせをいたします。それとあわせまして、日野市のホームページにおいて募集要項を公表するものでございます。また、11月4日から11月7日までの期間に各幼稚園で募集要項を配付して、お知らせするものでございます。

〔西田委員長 〕

濱屋委員。

〔濱屋委員 〕

今後の広報について、ご説明いただきましたが、今までどなたに、どのような説明をしてきたかということの概略と、それに対する反応について説明いただけますか。

〔鈴木学校課長 〕

保護者説明会、第三幼稚園と第四幼稚園に説明会を行いました。昨年4月16日に第三幼稚園に対して、保護者説明会を行いました。第四幼稚園におきましては、翌日の4月17日に行いました。それから、市民向けの説明会として市のホームページ及び広報ですが、5月1日付で市民向け説明会をしますということで、お知らせをさせていただきました。市民向けの説明会は昨年5月17日に行いました。

それぞれ第三幼稚園、第四幼稚園での質疑の内容でございますけれども、28年度、第三幼稚園での4歳児の受入れをするために最低の人数は何人ぐらいかですとか、あるいは平成28年度4歳児募集の10名に満たなかった場合、第2希望に入園できる場合でも定員に変更がないのだけれども、申込者全員入れるのかとか、あるいは三幼から四幼に転園者——5歳に上がったときですけれども——全員受入れられるのかとか、そのようなご心配をされるような質疑はありました。これについては、第四幼稚園は一つ、空き教室がございますので、十分受入れることは可能ですというような、お話をさせていただきました。

それから、5月に行われました市民説明会ですが、廃止する第三幼稚園につきましては、幼稚園への通いやすさを考えると、日野市の端にある四幼を残すより、三幼を残したほうがメリットが高いのではないかという意見がございました。ただ、これは待機児解消というところでいきますと、市民のメリットというところで考える同じ視点であれば、新しく保育ということを考えると、第三幼稚園のほうがメリットが高いという回答をして、ご理解いただきました。

もう1点、日野市においては幼保小の連携ができていますので、我々、市民としては非常に誇れると思っています。今後、日野市の教育理念として、やはり市立幼稚園を正しく位置付けして、議論して、正しい方向に持ってほしいという意見がございました。

以上でございます。

〔西田委員長 〕

岡本委員。

〔岡本委員 〕

今の説明の中に、私立のお話もありましたけれども、市民というか我々の周りでも、いろいろな形で大変注目しています。また、今まで日野市としても、いろいろな形で取り組

んできたと思いますけれども、主に私立に対して、今おっしゃった幼小連携という観点から、ご説明いただければありがたいです。

〔鈴木学校課長 〕

幼保小連携事業としまして、市立幼稚園の教員、小学校低学年の教員、私立の保育園・幼稚園の関係する保護者・保育者と、先生たちが集まって会合を持ちまして、それぞれ連携について定期的に会合を行っておりまして、また、全員集まったところで講演をいただいているということを毎年やっております。その中で私立保育園園長会からも是非、小学校の校長会との交流を持ってほしいというお話もございまして、先月そういった話し合いの場を持ちまして、お互いに勉強もしながら今後も進めていきたいということを確認し合ったところでございます。

〔西田委員長 〕

私立の保育園は、そのとき何園ぐらい参加されましたか。

〔鈴木学校課長 〕

ほとんどの私立保育園の方が来ていたと思います。

〔西田委員長 〕

校長会は小学校からですか。

〔鈴木学校課長 〕

小学校校長会です。

〔西田委員長 〕

ほかにご質問はございませんか。

〔西田委員長 〕

なければ、ご意見を伺います。高木委員。

〔高木委員 〕

これまでの統合に関しての関係者への説明ですとか展開ですとか、それから今後の対応についてお話を聞いて、基本的に十分配慮いただいているということでもありますけれども、いかんせん、この特例に関する規則が、文言ですと非常にわかりにくい部分があるので、今後、時間がない中での展開になっていくかと思いますので、是非、丁寧な対応をお願いしたいと思いますし、また、統合に際してはいろいろ予期せぬ事態も発生する可能性もありますけれども、趣旨が、統合によって影響を受ける園児の受入れに配慮するということにありますので、この目的が十分達せられるように、ご配慮いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

〔西田委員長 〕

ほかにご意見はございませんか。

〔西田委員長 〕

なければ、ご質問、ご意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。日野市立学校設置条例の一部を改正する条例の施行に伴う日野市立幼稚園に関する規則第3条第1項に規定する幼稚園の定員の特例を定める規則の制定について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

[西田委員長]

異議なしと認めます。議案第 27 号は原案のとおり可決されました。

[西田委員長]

報告事項に入ります。報告事項第 13 号・平成 27 年第 3 回日野市議会定例会の報告、
について事務局より報告をお願いします。

○報告事項第 13 号 平成 27 年第 3 回日野市議会定例会の報告

[兼子庶務課長]

報告事項第 13 号・平成 27 年第 3 回日野市議会定例会の報告を申し上げます。

2 ページをご覧ください。

会期は、9 月 1 日から 9 月 29 日の 29 日間で行いました。

一般質問は、質問者 19 名、うち教育委員会関係は 6 名で行いました。質問件数は 32 件、うち教育委員会関係は 7 件で行いました。要旨については、別表 1 のとおりでございます。

議案です。市長提出議案 31 件、議員提出議案 7 件、うち教育委員会に関するものは 6 件で行いました。

一つ目、平成 27 年度日野市一般会計補正予算、可決されております。補正総額、歳入歳出とも 16 億 8,997 万 1 千円、うち教育費は 870 万 8 千円でございます。予算総額、歳入歳出とも 615 億 933 万 1 千円、うち教育費が 80 億 1,181 万 4 千円でございます。教育費の内訳は別表 2 のとおりでございます。

二つ目、平成 26 年度日野市一般会計決算の認定について、認定をされております。

三つ目、日野市立日野第二中学校北校舎改築建築工事請負契約の締結について、可決されております。

四つ目、日野市立日野第二中学校北校舎改築電気設備工事請負契約の締結について、可決されております。

五つ目、日野市教育委員会委員の任命について、岡本委員が同意をされております。

六つ目、日野市教育委員会委員の任命について、濱屋委員が同意をされております。

また、請願ですが、教育委員会に関するものはございませんでした。

説明は以上になります。

[西田委員長]

事務局からの報告が終了いたしました。ご質問、ご意見がございましたら、お願いします。岡本委員。

[岡本委員]

ただいま説明がありました別表 1 に関連してですけれども、中学校のプロジェクト、例えば三中プロジェクトとか、いろいろ当委員会でも議論がありました。例えば学校訪問における校長先生のお話を聞いても、大変評価が高いというか、効果的に実施されているのではないかと、私の意見はそうだけれども、どのような評価に基づいて、あるいは分析に基づいて今後どのような計画を考えておられるか、これはいかんせん予算もかかること

ですし。

それと二つ目は、中学校のプロジェクト、先ほどから申し上げているように、私は成功していると思いますけれども、例えば小学校に対しては、どのように考えているのか、その辺りの説明をいただければ、ありがたいと思います。

〔鈴木学校課長 〕

中学校の各P Tについてのご質問をいただきました。

まず三中P Tでございますけれども、これにつきましては、三沢中学校の大規模化を防いで、三中の活性化を目的に行ってきた事業でございます。このP Tをやったことによりまして、確かに三中に通う生徒数が2クラス分くらい増えております。また、人数が増えたことによってクラブ活動もかなり盛んになり、活性化してきているという状況が、かいま見えております。これはやはり、まだまだ必要なP Tだと思っております。

また、昨年から行っております大坂上中学校のP Tでございますけれども、これは中央線の高架下道路のアンダーパスが続いたことによりまして、東光寺地区の生徒さんが坂を上って大坂上中へ行くよりも、一中に通いやすくなったということで、一中のほうが増えてきて、大坂上中の人数が少し減ってきたということがございます。そのための誘導策として今、実施しているものでございます。まだまだ効果的な面はあらわれてきておりませんが、校長以下努力をしております、徐々に効果があらわれるのではないかと期待しているところでございます。

また、二中のP Tにつきましても、かなり二中の周りのURの建替えで無くなっていったという状況があります。今、またマンション等が建設されて大分、人口も戻ってまいりましたけれども、隣の四中地区と比べましても、まだ二中につきましては生徒数が少ないといった状況がありますので、これをまだまだ続けていかなければいけないかなと思っております。

それから一中のP Tでございますけれども、これは今までお話ししてきた学校と違いまして、人口誘導策ということではなくて、こちらは建替えを機にすばらしい学校をつくっていきたいという中で行ってきたP Tであります。やはり地域の中で核となる学校でありますので、まだまだ道半ばというところでありますので、これもまた続けていきたいと考えております。

他の学校につきましても、今後いろいろな状況が、かいま見えてきますけれども、その状況を見定めながら、限られた予算の中でいかに効率的な効果を出していくかということを考えながら実施していきたい、考えていきたいと思っております。

また小学校につきましては、P Tということは実際にはされておりますけれども、特色ある学校づくりという中で、校長裁量によります外部指導員の予算がありますので、各学校の特徴に合わせた外部指導の活動をして、特色ある学校づくりに校長先生が一生懸命努力しているところだと考えております。

以上でございます。

〔岡本委員 〕

関連して、今のお話にもありましたけれども、私の見るところ、校長先生のリーダーシップというのは、効果を上げるかどうかということに対して非常に大事なポイントだと思

いますけれども、その点、どのような校長先生との連携、また今後例えば定期的にそのようなことをやっているのかとか、その評価・分析について、その辺りはどのような……。

〔鈴木学校課長 〕

まず予算を組む段階において、各学校の校長先生と来年度の予算について、要望をお聞きします。実際にそうした事業をやって、どの程度活用されているのかとか、それから年2回、PTの報告会を受けているという状況などを確認しながら、お互いに受け取りながら、来年度に向けての事業の組み立てを行っているという状況でございます。

〔西田委員長 〕

濱屋委員。

〔濱屋委員 〕

今回の質問の中にいじめに関する対応が多いのですが、この中の一つとして、ネットいじめに対して生涯学習課で講演会をしたということがありますが、この内容とか参加者の状況について、わかっていることがあったら教えていただけますか。

〔長島生涯学習課課長補佐 〕

ただいま私もで行っております家庭教育学級講演会の内容について、ご質問をいただきました。

先月9月6日日曜日、午前10時から1時間半、場所は、ひの煉瓦ホールの小ホールで講演会を開催させていただいたところです。講師の先生には木村尚文氏という方をお呼びさせていただきまして、演題として「ネットトラブルからわが子を守る！～知っておきたい安全対策～」ということで行わせていただきました。

内容につきましては、ネットいじめ、ネット依存、情報モラルなど、ネットトラブルの現状から子供を守るために親がすること、できることなどのアドバイスをいただいたところです。ポイントといたしましては、家庭のルールづくりと親子の会話の必要性、あとはネット以外の楽しいことを一緒に見つけることが大切ではなかろうかということで、講演をいただいたところです。

参加者につきましては50名ちょっと、ということで、もう少し人数があればということが、課題として残っております。

以上でございます。

〔西田委員長 〕

ほとんどの学校が参加されていますか。

〔長島生涯学習課課長補佐 〕

各校からは来ていただいておりますが、各校の人数が少ない状況でございます。

〔西田委員長 〕

ほかにもございませんか。

〔西田委員長 〕

なければ、報告事項第13号を終了いたします。

〔西田委員長 〕

報告事項第14号・平成27年度就学援助申請者数及び認定者数(平成27年4月～6月)、について事務局より報告をお願いします。

○報告事項第14号 平成27年度就学援助申請者数及び認定者数(平成27年4月～6月)

[兼子庶務課長]

報告事項第14号・平成27年度就学援助申請者数及び認定者数(平成27年4月～6月)、
をご報告申し上げます。

8ページをご覧ください。

申請者数、認定者数、否認定者数については、記載のとおりでございます。

なお、参考で同じ時期の3年分の表も載せてございます。また、平成26年度実績の受給率ですが、小学校13.0%、中学校17.86%でございます。

説明は以上でございます。

[西田委員長]

事務局からの報告が終了いたしました。ご質問、ご意見がございましたら、お願いします。高木委員。

[高木委員]

準要保護の日野市の基準について、考え方を教えていただければと思います。昨日も文科省で全国の自治体の状況について、報道がされているようですけれども、1.1倍から1.5倍ぐらいまでゾーンがあるということなので、日野市の仕組みと三多摩における位置づけ等についての状況を教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

[兼子庶務課長]

まず支給する品目については、基本的には国のほうでガイドラインが示されております。日野市においては、すべてではないのですが、やっているもの、やっていないものがございます。また日野市独自で卒業アルバム代、入学準備金など独自のものを採用しています。また基準についてですが、生活保護の基準の1.3倍を採用しています。これは三多摩26市比べても、大体真ん中辺りというところで、平均をとってございます。

以上でございます。

[西田委員長]

ほかにございませんか。

[西田委員長]

なければ、報告事項第14号を終了いたします。

[西田委員長]

報告事項第15号・平成27年度日野市高校生奨学金の申請者数及び決定者数、について事務局より報告をお願いします。

○報告事項第15号 平成27年度日野市高校生奨学金の申請者数及び決定者数

[兼子庶務課長]

報告事項第15号・平成27年度日野市高校生奨学金の申請者数及び決定者数、をご報告申し上げます。

10 ページをご覧ください。

申請受付は平成27年6月10日から6月30日まででございました。

申請者数、認定者数、否認定者数については、記載のとおりでございます。

説明は以上でございます。

〔西田委員長 〕

事務局からの報告が終了いたしました。ご質問、ご意見がございましたら、お願いします。高木委員。

〔高木委員 〕

過去のデータを見ても、最終的に決定者数は50名から60名強ということで、それぞれ当事者にとって、ありがたい制度だということで、成果も上げてきていると思いますけれども、ただ、見させていただきますと選考基準内にあるが、募集人数を超過したということで、過年度を含めて支給されていない方も結構いらっしゃるわけですが、この辺について何らかの手を打つことが必要だと思いますので、現状考えていることがあれば、お伺いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

〔兼子庶務課長 〕

先ほどの就学援助もそうですが、この奨学金についても、ある意味セーフティネット的な意味合いがございます。最近、言われております子供の貧困、負の連鎖、これらを断ち切るために、こういうものを研究していかなければいけないというのは、私どもも感じております。今後も含めて、その辺は研究をさせていただいた上で、やっていきたいと思っております。

以上でございます。

〔高木委員 〕

研究をさせていただくということなので、是非その辺も含めて、よい結果が出るような形で工夫していただければと思います。よろしくお願いします。

〔西田委員長 〕

ほかにございませんか。

〔西田委員長 〕

なければ、報告事項第15号を終了いたします。

〔西田委員長 〕

報告事項第16号・要綱の制定及び改廃の報告（平成27年7月～9月）、について事務局より報告をお願いします。

○報告事項第16号 要綱の制定及び改廃の報告（平成27年7月～9月）

〔兼子庶務課長 〕

報告事項第16号・要綱の制定及び改廃の報告（平成27年7月～9月）、をご報告申し上げます。

12 ページをご覧ください。

要綱の名称、適用日、制定・改廃の内容については、記載のとおりでございます。

報告は以上でございます。

[西田委員長]

事務局からの報告が終了いたしました。ご質問、ご意見がございましたら、お願いします。

[西田委員長]

なければ、報告事項第16号を終了します。

[西田委員長]

報告事項第17号・日野市教育委員会後援等名義使用実績報告（平成27年4月～平成27年9月）、について事務局より報告をお願いします。

○報告事項第17号 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告（平成27年4月～平成27年9月）

[長島生涯学習課課長補佐]

報告事項第17号・日野市教育委員会後援等名義使用実績報告（平成27年4月～平成27年9月）、についてご報告いたします。

資料19ページをご覧ください。

申請件数は63件ございました。平成26年度の同期と比較いたしまして、同期は65件の申請件数でございました。

実施内容の内訳です。スポーツ関係が11件、音楽・美術関係が18件、講演会が9件、イベント18件、その他7件でございました。

報告は以上でございます。

[西田委員長]

事務局からの報告が終了いたしました。ご質問、ご意見がございましたら、お願いします。濱屋委員。

[濱屋委員]

ただいま今期の実績としては、それほど大きな変化はないということでしたが、内容ですとかあるいは新規のイベントとか、もし、そういった今年の特徴的なことがあれば、説明いただけますか。

[長島生涯学習課課長補佐]

今年度につきましては、新しく市内に進出していただいた事業所であるとか、もともと市内でご活躍されている方々、そんな方々が自らの施設をご活用いただきまして、市内の子供であるとか近隣住民のために、以前と比べましてかなり積極的に地域貢献活動ということでご活躍をいただいて、そのような特徴的なことが、あらわれ始めております。

[西田委員長]

岡本委員。

[岡本委員]

一つの意見ですけれども、この後援の名義使用について、教育委員会事務局としても持ち込まれるものについては、慎重にしていると思うのですが、企業側からCSRの

観点から考えると、例えば子供の職場体験とか、あるいは郷土資料館との連携とか、そのようなこともあるかも知れません。そういった意味で教育委員会としては、このようなところに力を入れているとか、このような協力をいただけると非常によいというような、PRとまでは言えませんが、企業にも是非知っていただいて、日野市としてこのようなことを望んでいますと。もちろん名義を貸すことを契機に、一つのお墨付きみたいなものでしょうから、企業としてもメリットというのがありますし、よい社会的な評価というのがありますので、その辺慎重にしなければいけないと思います。慎重にしなければいけないと思いますが、是非このような機会を捉えて教育委員会の活動を理解していただくと、そのようなことを伝えていただければ、ありがたいと思います。

〔西田委員長 〕

事業報告は、どのような形でなされているのでしょうか。

〔長島生涯学習課課長補佐 〕

終了後1カ月以内に紙もしくはデータで、私ども生涯学習課のほうにご報告をいただくよう、お願いをさせていただいています。

以上でございます。

〔西田委員長 〕

ほかにございませんか。

〔西田委員長 〕

なければ、報告事項第17号を終了します。

〔西田委員長 〕

以上をもちまして、本日の案件はすべて終了いたしました。これにて平成27年度第7回教育委員会定例会を閉会いたします。

閉会 14時41分